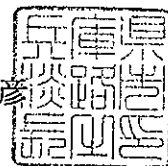


平成 20 年 10 月 20 日

兵庫県淡路市長 門 康



平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別添のとおり回答いたします。

淡路市においては、道路は社会経済活動を活性化し、安全で快適な暮らしを実現するとともに、「元気なまち」をつくっていくうえで、欠かすことのできない最も基本的な社会資本であります。

しかしながら、淡路地域の地域振興の妨げとなっている明石海峡大橋の割高な通行料金など、まだまだ道路に関する課題は多くあります。

また、淡路島内に大きな被害を及ぼした阪神・淡路大震災や平成16年の台風23号では、その復旧、復興において、道路の果たす役割の重要性を認識し、災害に強い道路整備の必要性を痛感させられました。

こうした地域の課題を解決するためには、道路の整備や神戸淡路鳴門自動車道の通行料金の低減などが必要不可欠であると考えます。また、高度成長期に建設した多くの道路、橋梁の老朽化が進行しており、これらの維持管理が小さな市町村においては大きな課題となっています。

平成21年度より道路特定財源が廃止され、一般財源化されることが閣議決定されましたが、地域の未来を閉ざすことのない、地域のニーズに応じた道路整備の推進をしていただかなければと思います。

よって、次のとおり要望いたします。

- ・平成21年度以降も必要な道路整備や老朽化の進む数多くの既存ストックの維持管理が停滞することのないよう財源を確保するとともに、計画的に推進していただきたい。
- ・安心・安全な地域社会を確保するうえで、バリアフリー化、無電柱化の推進など地域のニーズに応じた道路政策を円滑に推進願いたい。
- ・地方道路整備臨時交付金及び国庫補助負担金により、地域の課題に対応した道路整備を進めるとともに、国と地方が適切な役割分担のもと、道路網の整備が進められるよう必要な財源を確保していただきたい。
- ・阪神・淡路大震災や台風等の災害の教訓を踏まえ、防災対策、危機管理への対応強化とともに、災害に対して安全で信頼性の高い道路づくりを緊急に進めていただきたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

兵庫県淡路市

○現状

- ・ 国道２８号線の冠水対策

◇淡路市役所東浦総合事務所前の冠水・排水対策

淡路市役所東浦総合事務所前の国道２８号線は、東浦地域内の地形上最も低い位置にあり、さらに排水路も想定されている雨量でも支障をきたす排水管しか整備されておらず、集中豪雨時をはじめ、昨今のゲリラ豪雨時など幾度となく冠水し、通行車両及び歩行者に多大な影響を与えている。

海岸へつながっている排水路のすべてが国道２８号線を横断するため、国道整備当初から本数、管の規模も限られていたため、そう多くの排水路が整備されていません。

国道が整備された当時にくらべ、ここ数年の間に、東浦事務所周辺では宅地造成、開発が数多く行われ、国道２８号線を横断している非水路の新たな整備がされないまま、宅地造成地の排水路が従前の排水路への接続だけの対応で終わっており、処理すべき水量が当初計画よりをはるかに超えていることも原因の一つである。

冠水・排水の早急な対応を進めていただきたい。

◇淡路市志筑地区の冠水・排水対策

淡路市志筑地区は市内でも地形上最も低い地域であり、国道２８号線が地区の前面に整備され路面が地域よりも高い位置にあり、集中豪雨時などは排水の妨げとなり、地区内に逆流する状態である。従来から整備されている排水路は、すべて国道２８号線を横断して海岸へ排水しております。

しかし、近年の宅地開発などにより新たな地域内の排水路整備を行っておりますが、国道を横断する排水路については従来のままであり、処理すべき計画水量をはるかに超えている状態であります。昨今の、ゲリラ豪雨など予期せぬ事態が続発している中で住民の安全な生活を守る上でも早急な冠水、排水対策を進めていただきたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

兵庫県淡路市

○現状

- ・ 国道２８号線の淡路市志筑地区から塩田地区間の歩道の整備

淡路島内唯一の国道２８号線は、淡路市内を南北に２８．４kmにわたり整備されている地域の基幹道路です。全線が改良舗装されており車両の安全通行は確保されていますが、歩行者等の安全面を考えると歩道が未整備の箇所も多く、危険箇所が区間のいたる所で見られ、早急な整備が必要であります。

歩道が整備されている箇所でも、幅員が狭い箇所もあり、朝夕の通学、通勤の自転車や歩行者が歩道上を通行できず、車道を使用するなど非常に危険な状況となっております。

さらに、神戸淡路鳴門自動車道の通行料金の割高感の意識も根強く、島内の国道、県道へ迂回し通行する大型トラックなどが増大し、重大な交通事故の発生が現実のものとなってきております。

国道２８号線は、淡路島民にとって大切な生活道路となっており、通行車両の安全通行の確保も大切であります。歩行者、自転車通行者の安全確保もそれ以上に確保されることが重大かつ責務であると思われます。既存歩道の拡幅、全線における安全な歩道の整備に早急に取り組んでいただきたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

兵庫県淡路市

○現状

- ・神戸淡路鳴門自動車道並びに明石海峡大橋などの通行料金の低減、無料化

神戸淡路鳴門自動車道並びに明石海峡大橋も、平成１０年４月の開通から１０年が経過し、我々淡路島の住民、来島者にとってなくてはならない道路となっています。

京阪神並びに四国の都市と１本の道路で結ばれたことで、淡路地域では交流人口の増加、定住化の促進、地場産業の販路の拡大など、淡路地域の活性化のため、島をあげて取り組んでいます。

このような中、夜間割引や土日祝祭日の通行料金の半額化など、国及び本四公団に通行料金の低減化に取り組んでいただいているところです。

しかしながら、淡路島への入り口である明石海峡大橋並びに大鳴門橋の通行料金については、割高感が強いとため、通行量などをみても架橋効果があまり感じられず、島内の急激な人口減と合わせ地場産業の活力維持が困難な状況になってきております。

さらに、本土と四国間を運行する大型トラックは、輸送コストの節減のため、昼夜を問わず島内唯一の国道２８号線、また島民の生活道路である県道を通行しており騒音、振動、排気ガスなどの環境問題や大規模な交通事故の発生が現実問題として住民の生活に大きな不安をもたらしています。

このため、神戸淡路鳴門自動車道並びに明石海峡大橋、大鳴門橋の本来の有効な利用を促進し、淡路地域の活性化を図るため、現在実施している割引サービスの曜日、時間の延長などの検討を行い、通行料金の低減化、無料化に取り組んでいただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２ 地域の目指すべき将来像

兵庫県淡路市

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

兵庫県淡路市

○重点事項 ◇活力分野 ・交通サービスの向上 ・地域活力の向上 ◇安全分野 ・水害等の災害に強い国土づくり ・総合的な交通安全対策 ◇暮らし・環境分野 ・バリアフリー社会の形成	○代表事例 ・神戸淡路鳴門自動車道の低減化、無料化 （半額サービスの平日での実施、時間の延長） ・国道28号線の冠水・排水対策 ・歩行者に優しい歩道の整備 ・歩道段差の解消 ・点字ブロックの整備		
--	--	--	--